産業技術短期大学

チャレンジャー!

鈴鹿を制するのは僕たちだ!
乾電池40本の挑戦!!

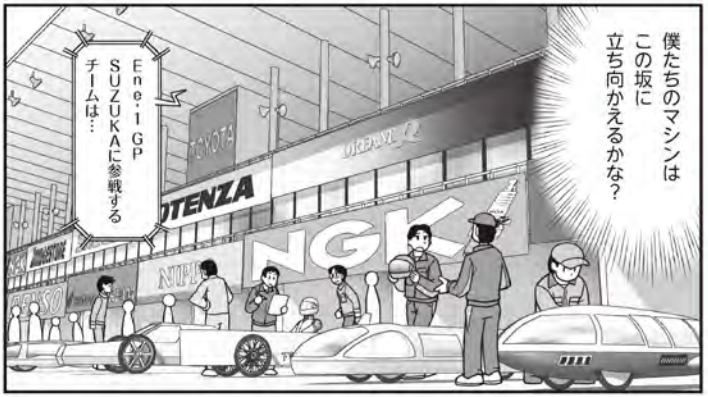
鈴鹿サーキット

日本初の本格レーシング場として
1962年に本田技研工業によって建設

その全長は5,807㎞
世界からも高く評価される
テクニカルコースだ

そして
最大高低差は52m…

ヒュウウウウ…



1台で うちのマシンが 5、6台は作れる ハイスペックな マシンがあったよ！
5、6台!?
ざわっ
そんなにきつい 坂があるのか!?
急こう配か… 電池の消耗が 激しくなるな
チームリーダー 田口 陽一
そもそも 登り切るパワーが 出るかどうか
磨きの天才 西岡 優
坂を どう攻略するかが レースの決め手って わけか
工場長 土居 旭
少しでも 電池を 温存しなくちゃ
みんなー 大変だぁ!!
今度は 何だ?
ゼェ
ゼェ
他の チームは すごいマシンを 用意してたよ
空を飛びたい男 平岡 光太郎
配線担当 髙畑 侑弥
僕たちの作ったマシンは タイヤは自転車 モーターは古い電動自転車の ものを再利用している しかも たった4ヵ月で製作した 急ごしらえのマシンだ
でも このマシンは 僕たちにとって 特別なんだ！
えらく 金をかけた マシンが 来てるなぁ～
先生！
技術指導員 小野 正伸
ものづくり創造工学科＆ ものづくり工作センター講師 久保田 憲司

笑ってる場合じゃないですよ！
こんなの走る前から結果は出ちゃってますよ
すっ
バカモン!!!
勝負はマシンの値段で決まるんじゃない！
本気で勝負を挑んだ者が勝つんだ!!
君らは手を抜いてこいつを作ったのか？
そんなわけないじゃないですか！
俺たちがどれだけ苦労してそいつを完成させたか知ってるでしょ!?
なら話は早い…
自信を持って戦え！
お前たちの本気を見せてやれ!!
俺たちの…
本気…!?
よしっ！みんな準備にかかろう
おおっ!!
カッ

いけ〜〜!!
ゼェ
外でこの暑さだ
マシンの中は地獄だろうな
配線担当
岸田 信
ゼェ
モーターも
焼けついちゃう
かも
ゼェ
舩倉の体力が
もてばいいけど
記事担当 佐藤 拓麻
ゼェ
僕は坂を
登り切れるか
心配だよ
研磨担当 田仲 周平
よっしゃ!
急こう配へ
先回りするぞ!!
ひ〜
また走るの〜
ものづくり工作センター
僕たちは
このレースに
挑戦するまで
ほとんど
接点がなかった
それが
数ヵ月前…

産業技術短期大学では『**ものづくり工作センター**』を開設することになった

このセンターは学生諸君の「やってみたい！」を実現するための工房だ

いいか お前たち…

好きな物を作れ!!

僕たちは先生の その言葉に 惹きつけられた

工房では僕たちのアイデアで自由に物作りのプロジェクトを立ち上げることができる！

Ene-1 GP SUZUKAへの参戦を決めたのも僕たちだ

ここに集まっているのは本気で『**ものづくり**』に挑んでいる

チャレンジャーたちなんだ!!

…おいおい嘘だろ？
いったい何チームリタイアしたんだ？
見ろ！ハイスペックマシンも脱落してるぞ
おしまいだ～！こんな坂登れるわけないよ
バカ野郎!!
勝負する前から諦めるんじゃねぇ！
俺たちのマシンなら行ける！
俺はそう信じてるぞ!!!
来た！
ウイイイ…
けっこうスピードが出てないか??
電池の消耗を減らすためにノンブレーキで走ってるんだよ！
グワッ
うわぁ！片輪!?
ぐいっ
バタン!!
あ危ねぇ～
問題はここからだ！
ウイイイ
11
12

イイイイイイ
うわぁ～
どんどんスピードが…
遅っ!!?
の3
の3
電池のパワーじゃこれが限界だよ
でも前には進んでるよ！
そうだ！進んでるかぎりリタイアじゃない
くっそ～！
見てることしかできないのがもどかしい～!!
13
うぅぅ～…
登れえええー!!!
登れ！登れっ！
登れえ!!!
14

のぼれぇぇぇ

僕たちのマシンは鈴鹿を制した！

参加50チーム中総合では17位だったけど

パチ
パチ
パチ
パチ
2011 Ene-1GP SUZUKA

大学高専部門で優勝することができた！

そして僕たちの新たなチャレンジはもうスタートしている…

新しいメンバーを紹介するぞ

情報処理工学科の黒田さんだ

黒田祐華です宜しくお願いします

うおおお!!

女の子キタァー!!

おっとこりゃいかん

え!?

今 僕たちは60年代のスーパーカーロータスヨーロッパを世界一のEVカーに生まれ変わらせようとしている

各地で開催されるEVカーレースに出場するためだ

きっと この先想像もつかない苦労が山ほどあるだろう

でも物作りの面白さを知った僕たちは これからも挑戦し続けて行くだろう！

産業技術短期大学
Monozukuri Project Press
ものづくりプロジェクト新聞
号外

やってみたい人間大集合!!

産業技術短期大学では、学生の「やってみたい」を実現する工房として「ものづくり工作センター」を開設。ここでは、学生のアイデアによる、ものづくりプロジェクトを自由に立ち上げることができ、また、ものづくりの基礎を学べるように、実際に工作機械などを動かして旋盤などの実習を行う拠点としての役割も担っている。

EVカープロジェクト

遂に本格始動したEVカープロジェクト。今回の取り組みは「市販車をモーター駆動に変更する」いわゆるコンバートEVと呼ばれるものだ。

素材にはロータス社製「ヨーロッパS2」を使用。しかし、製造から半世紀近く経過した車両はあちこちに痛みが見られ補修が必要。補修作業と並行してEV化の作業も進んでいる。モーターは高出力の物を選定し、最大速度は200km/hを目指す。

将来の公道での使用も考え、準備を着々と進めている。

ピカピカに生まれ変わるメイド・インC-Tのロータス・ヨーロッパに大いに期待だ!

完成イメージ

注目のProject

空飛ぶ絨毯プロジェクト

近年多発している台風などの自然災害。土砂崩れなどにより道路が寸断され、車はもちろん、ヘリコプターも墜落の危険があるため着陸できない状態が頻発している。

現場への移動手段が切望されている中で、1953年にアメリカのNACA(現在のNASA)が製作したフライングプラットホームに着目した。

NACAのものは足元で回転翼を2重反復させ直立姿勢で自由に飛行できる構造になっているが、我々はこれを更に進化させ、コンピュータとジャイロによる姿勢制御を取り入れ、より安全に安定した飛行が出来るように設計している。

2012年の夏には完成する予定だ。

産業技術短期大学について

産業技術短期大学は、昭和37年に日本鉄鋼連盟により設立された技術系短期大学で、現在は、4つの工学科(機械、電気電子、情報処理、ものづくり創造)と専攻科を併せ持ち、鉄鋼メーカーなどからの社会人(企業派遣)学生が約2割程度在籍しています。

所在地/〒661-0047 尼崎市西昆陽1丁目27-1 TEL(06)6431-7561(代表)
アクセス/阪急「武庫之荘」駅下車、40または41番の尼崎市バス15分「常陽中学校」下車、徒歩4分
ホームページ/http://www.sangitan.ac.jp/

ものづくり工作 検索